

展覧会名	宝石の街 甲府
会期	2018年10月20日(土) - 2019年2月11日(月・祝)
会場	山梨ジュエリーミュージアム 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階(山梨県庁)
料金	無料
お問合せ	山梨ジュエリーミュージアム TEL 055-223-1570

展覧会概要

甲府市には県内にあるジュエリーの企業や工房の多くが集まっており、宝石の街として山梨の研磨宝飾産業において大きな存在感を示してきました。

山梨のジュエリーは、かつて金峰山一帯から水晶が産出したことと、江戸後期に京都から水晶の加工技術が伝わったことを発端としています。後に、技術は水晶工芸と水晶研磨へと枝分かれし、水晶工芸は国の伝統的工芸品に指定された甲州水晶貴石細工へ、水晶研磨はジュエリーに用いる様々な宝石の研磨技術へとそれぞれ発展しました。やがて鋳=貴金属加工の技術と石の研磨技術が合わさり、装身具を生み出す産業が成立していくこととなります。

現在では、水晶のみならず世界各国から集まった宝石を加工し流通させる宝飾の一大集積産地となっています。

本展では明治期の水晶工芸から、現在のジュエリーまでを幅広く展示し、貴金属加工・宝石研磨・水晶美術彫刻の各分野を紹介しながら、それぞれの技術が世代を経て新しい価値を生みだそうとする取り組みもあわせて紹介します。

(後援：こうふ開府500年記念事業実行委員会)

主な展示作品



1 ペンダント〈ゆきのはな〉
デザイン：西美由紀
制作：山本製作所 山本 武
ジュエリーフルヤ
古屋 孝夫



2 ペンダント〈リボン〉
デザイン：清水 司朗
制作：工房 雅 藤澤 一雅
貴石彫刻オオヨリ
大寄 芳朗



3 リング/ペンダント〈待宵〉
デザイン：米山 美香
制作：河野水晶美術 河野 道一
ジュエリーアートクレアール
久保寺 今朝之



4 かんざし〈甲州貴石切子 切子珠〉
制作：ジュエリークラフトフカサワ
深澤 陽一

同時開催

「イメージが形になるまで Vol.2」

2019年1月12日(土)ー2月11日(月・祝)

主催：ジュエリーデザイナーズクラブ 山梨

ひとつのジュエリーが出来上がるまでには様々なストーリーがあります。イメージの起点となるスケッチやデザイン画などとともに完成したジュエリーをお楽しみください。

体験工房のご案内

山梨ジュエリーミュージアムでは、土、日、祝日にジュエリー制作が体験できるプログラムをご用意しています。ジュエリー産地、山梨で活躍している職人の指導のもと「山梨ジュエリー」のワザを体験できます。



広報用画像

本展覧会をご紹介して頂ける場合に限り、上記掲載の作品画像データを提供いたします。当館サイトからダウンロードできますので、メールでお問い合わせください。ダウンロードアドレスをご連絡します。なお、お問い合わせの際は、下記内容を合わせてお知らせください。

- | | |
|--------------------|-----------|
| ① 希望する作品画像の番号・タイトル | ④ 所在地・電話 |
| ② 媒体名・掲載(公開)予定日 | ⑤ メールアドレス |
| ③ 御社名・ご担当者名 | |

【重要】プレス画像のご利用にあたって、必ずお読みください。

- ① プレス画像の利用は、当該画像に係る展覧会または当館に関する記事掲載の目的での利用に限ります。
- ② プレス画像の掲載に際しては、作家名、作品名、作品情報など所定のクレジットを必ず記載してください。
- ③ 校正の段階で原稿を山梨ジュエリーミュージアム 広報担当宛 (jewelry-museum@pref.yamanashi.lg.jp) にお送りください。
- ④ プレス画像は全図でご使用いただき、トリミングや文字寄せ等は行わないでください。また、画像が無断で第三者に利用されることのないよう、コピーガード、転載不可の明記など、必要な措置を講じてください。
- ⑤ 画像データは使用後速やかに破棄してください。データの保存および第三者への提供はお控えいただくようお願いします。
- ⑥ 取材の内容及び借用画像が収録・掲載されたサイト・番組等は DVD1 枚、印刷物については、現物を 1 部もしくはコピーの場合は 3 部で寄贈ください。

※媒体掲載にご使用いただける印刷用の高解像度 (300-400dpi) とオンライン用の低解像度 (72dpi) の 2 種類の画質をご用意しております